

こんにちは、Alex Theedom です。これから、Servlet 4.0 での URL マッピングのランタイム・ディスカバリーについて説明したいと思います。

この機能をデモンストレーションするために、複数のパスとマッピングが設定された単純なサーブレットをデプロイし、そのサーブレットをアクティブにして、検出された URL 情報を確認します。

早速 IDE でコードを見ていきましょう。

ここに開いている `ServletMapping` サーブレットは、この動画に付属のソースに含まれています。ご覧のように、私が指定したこの一連のマッピングによって、このサーブレットをアクティブにすることができます。

サーブレット本体の中で、`HttpServletRequest` のインスタンスに対して `getHttpServletMapping` メソッドを呼び出します。

この API には 4 つのメソッドがあり、これらのメソッドを使用して、サーブレットをアクティブにした URL 情報を取得します。

`getMatchValue` メソッドは、リクエストが一致する原因となった、URI パスの該当する部分を返します。

`getPattern` メソッドは、URL パターンの String 表現を返します。

`getMappingMatch` メソッドは、`MappingMatch` 列挙型の値として表現された一致のタイプを返します。値は、`CONTEXT_ROOT`、`DEFAULT`、`EXACT`、`EXTENSION`、`PATH` のいずれかになります。

`getServletName` メソッドは、サーブレット名の String 表現を返します。

これらのメソッドの戻り値は、`doGet` メソッドの本体によって出力されます。

それでは、このサーブレットをデプロイしましょう。

サーブレットがデプロイされました。ここに表示されている 3 つのマッピングが、サーブ

レットをアクティブにします。

path URL はパスのマッピングとの完全一致です。

path/to URL は PATH タイプの一致であり、path/to/* パターンと一致します。

最後の path/download.ext は、*.ext パターンと一致する、extension タイプの一致です。

URL マッピングの説明は以上です。この動画を楽しんでいただけたことを願います。

私をフォローしたい場合は、下の Twitter ハンドルでフォローしてください。また、私の
ブログ readlearncode.com にもアクセスしていただけます。

それでは、またお会いしましょう。